



令和5年6月 市議会定例会

令和5年度一般会計補正予算を可決 当初予算としては過去2番目の予算規模

平塚市議会は、令和5年6月7日から6月30日まで、24日間の会期で6月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和5年度一般会計補正予算や条例の一部改正、人事案件など28案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決・同意しました。

また、議員から意見書提出に関する2件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「赤い絨毯を疾走する新幹線」(撮影 谷口誠さん/横内)
(撮影日 令和5年5月5日)

令和5年度当初予算は、統一地方選挙を控えていたことから、新規施策や政策的な経費を極力抑えた骨格的な予算として編成され、今定例会では、当初予算で措置を見送った経費などが計上されました。

歳入歳出予算の補正では、約11億3千万円の増額となる予算が計上されました。主なものとして、地震・津波防災対策事業では避難所へのマンホールトイレの整備を進める経費として4572万円が計上されました。民間保育所助成事業では保育所等の利便性向上に向けて、紙おむつ定額サービス導入の支援や障がい児保育の促進支援、ICTを活用した子供の安全対策機器等の導入支援、地方創生臨時交付金を活用して物価高騰の影響を受けた給食材料費に対する支援を行うための経費として3947万1千円が計上されました。小児医療費助成事業では、子育て世帯の経済的負

- ### 一般会計補正予算の一部を紹介
- **なぎさふれあいセンター改修事業**
なぎさふれあいセンターの長寿命化及び機能拡充に向けた大規模改修の設計委託をするための経費…………… 1532万円
 - **福祉・子育て支援施設脱炭素推進事業**
地方創生臨時交付金を活用して、ゼロカーボンシティの実現に向けた福祉・子育て支援施設の脱炭素化を推進するための経費…………… 1億3579万円
 - **ごみ収集運搬事業**
デジタル技術を活用した効率的で持続可能な収集体制を構築するための経費…………… 1910万円
 - **地区公民館整備事業**
八幡公民館管理人棟解体工事及び大神公民館駐輪場等工事を行うための経費…………… 3024万円

担を軽減し、子供を安心して産み育てることのできる環境の実現に向け、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳まで拡大するため2911万5千円が計上されました。地域経済キャッシュレス化推進事業では地方創生臨時交付金を活用し、市内経済の消費喚起を図り、物価高騰の影響を受けている市民及び市内事業者の支援と、出産・子育て応援金の期間延長に伴い、引き続きスターライトマネーでも交付できるように対応するため3億2102万8千円が計上されました。路線バス運行自動運転転実証事業では持続可能な公共交通の維持・確保を目的に、市内路線バス自動運転実証事業を実施するため1億8千万円が計上されました。

が計上されました。予算総額は約887億4千万円となり、当初予算額としては3年度に次ぐ過去2番目の規模となりました。また、5月臨時会に専決処分として提出した補正額と合わせると、一般会計総額は913億2191万円となりました。

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
片倉章博 野崎審也 数田俊樹	
公明ひらつか	4
石田美雪 秋澤雅久 岡崎通子	
湘南フォーラム	5
山原栄一 小泉春雄 出村 光	
しらすぎ・無所属クラブ	6
白井照人 渡部 亮 元島 新	
日本共産党平塚市議会議員団	7
高山和義	
無所属	7
佐藤由美子	
常任委員会の審査概要	3・7面
審議の結果	8面

- ### ◆人事案件に同意
- 農業委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。
(農業委員会委員)
- 大畑正子氏(南豊田)
 - 横山篤正氏(上吉沢)
 - 松木寿永氏(東真土三丁目)
 - 松井孝城氏(城所)
 - 今井高司氏(大磯町)
 - 津田勝稔氏(万田二丁目)
 - 中戸川和弘氏(中原二丁目)
 - 高橋正治氏(根坂間)
 - 高橋立一氏(平塚四丁目)
 - 小宮憲一氏(横内)
 - 笹尾美香氏(南原二丁目)
 - 加藤一郎氏(真田四丁目)
 - 荻野信子氏(南金目)
 - 荻野 武氏(土屋)
 - 上原康雄氏(入野)
 - 猪俣誠造氏(上吉沢)
 - 荒川 薫氏(岡崎)
 - 猪俣誠造氏(上吉沢)
- ### ◆副市長の選任に同意
- 副市長の任期満了に伴い、本会議の初日に新たな副市長を選任する議案が提出され、全員異議なく同意しました。
- 小宮憲一氏(横内)
 - 加藤一郎氏(真田四丁目)
 - 荻野信子氏(南金目)
 - 荻野 武氏(土屋)
 - 上原康雄氏(入野)
 - 猪俣誠造氏(上吉沢)
 - 荒川 薫氏(岡崎)
- ### ◆国際姉妹都市の提携について可決
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン・共生社会ホストタウンとしてリトアニア共和国と交流を進める中で、同国のカウナス市と2018年に友好交流の覚書を締結し、教育分野を中心にさまざまな交流事業を実施してきました。今後、両市の友好の絆をさらに深め、多様な分野での交流を推進するため、姉妹都市の盟約を結ぶことについて提案されました。常任委員会では小中学生を派遣する際の費用負担について質疑がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

- ### 議員在職20年の議員を表彰
- 市議会議員在職20年以上となる次の6議員が、全国市議会議長会から表彰されました。今定例会の最終日の本会議終了後に、議長から表彰状の伝達披露がありました。
- #### 表彰された議員
- 松本敏子議員(日本共産党平塚市議会議員団)
 - 須藤量久議員(清風クラブ)
 - 黒部栄三議員(清風クラブ)
 - 片倉章博議員(清風クラブ)
 - 江口友子議員(しらすぎ・無所属クラブ)
 - 白井照人議員(しらすぎ・無所属クラブ)

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、14人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ



「夢ある未来」平塚を創る
片倉 章博 議員

子育て支援

問 小児医療費の助成について伺う。

市長 子育て支援は、地域社会全体で取り組む最重要課題と位置付けており、取り組みの一つとして小児医療費助成を行っている。今回の対象者拡大により、0歳から18歳まで切れ目なく通院及び入院の医療費助成が受けられるようになる。利用者は約7千人増加し、合計で約3万6千人となる見込みである。

問 手ぶら保育の取り組み内容を伺う。

市長 おむつ定額サービスを導入し、園児の使用済み紙おむつを処分する認可保育所などに対して入所している0歳児から2歳児の園児1人につき、処分費用として月額4200円の補助金を交付する事業である。

問 子育て支援について市長の覚悟を伺う。

市長 今の時代が目指すべき大きな課題の一つとして

しっかりと取り組んでいきたい。

福祉・暮らし

問 可燃ごみの戸別収集について伺う。

市長 令和3年4月から本格実施し、毎年対象地区を拡大してきた。5年度も10月に富士見地区、南原地区、城島地区、横内地区、金目地区の一部に拡大する予定で進めている。今後は、9年度までに市内全域で可燃ごみの戸別収集が実施できるように取り組んでいく。

安心・安全

問 避難所のマンホールトイレの設置状況と備蓄品について伺う。

市長 令和3年度から、市の施設で指定避難所となつている小中学校や競輪場の44か所に順次整備しており、現在4か所の工事を済ませていく。5年度は5か所に整備する予定となっている。備蓄品は、乳幼児や

高齢者などにも対応するため、液体ミルクや食物アレルギーなどに配慮した食料の備蓄に努め、避難生活の長期化に対応するため、間仕切りテントを拡充するなど被災者のニーズに合った食料や物資などを調達できるように努めている。

まちづくり

問 駅周辺地区将来構想の進捗状況と支援策について伺う。

市長 これまでに現状や課題、駅周辺地区に必要な機能を把握し、現在まちづくりの基本的な考え方や方向性、求められる機能などについて検討している。支援策については、敷地の共同化を推進し、健全な高度利用を図るため、駅周辺地区の地権者などを対象にし

産業・環境

問 産業のスマート化を推進する取り組みについて伺う。

市長 デジタル技術を活用し、農業や教育、保育、介護など産業の省力化や高度化を深めるため、農業ではアシストトラクターの導入、保育分野では保育ICTの導入を支援し、デジタル化の取り組みを重ねることと、それぞれの分野で課題が解決するよう引き続き必要な支援を行っていく。

市民意識調査から

問 令和4年9月に実施した市民意識調査からまちの姿をどう捉えているのか。

副市長 本市は豊かな自然環境に恵まれ、安心して子供を育てられる環境が整っており、若い世代が暮らしやすいといったまちの姿を見て取ることができている。

問 まちへの愛着や誇りをどう醸成させていくのか。

企画政策部長 市民意識調査で評価が高かった子育て支援の充実や総合公園、また、史跡などが多くあるこ

たアドバイザーの派遣や共同化に向けた活動経費の一部補助を考えている。

課題

問 商店街街路灯の電気料金の補助率を伺う。

産業振興部長 令和2年度までは60%、3年度は新型コロナウイルス感染症により影響を受けた商店会を支援するため100%補助した。4年度以降はLED化した商店街街路灯には補助率を10%上昇せしめて70%補助している。

市制100周年を見据え 少子化対策、婚活支援



野崎 審也 議員

若者の雇用や収入面

問 若い世代の雇用の確保や収入面での支援など安心して働ける環境づくりについて伺う。

副市長 個別就労相談や正規雇用促進補助金による企業への支援企業合同就職面接会のほか、ハローワークなどと連携し、若者の雇用促進につながる事業を実施している。

空き家を婚活で活用

問 婚活支援として空き家を活用した住居確保や市営住宅を優先提供することへの見解を伺う。

副市長 空き家を活用した住居確保は「平塚市空家等対策計画」に掲げる利活用策である空き家バンク制度で、空家などを売りたい、貸したい人と買いたい、借りたい人に情報提供している。市営住宅は結婚を考えてる人に対して婚約中でも住

や有効活用を図る。6年度にはまちの将来構想を策定し、本市の顔としていつまでも市民に愛されるよう、居心地が良く魅力あふれるまちづくりを進めていく。

将来構想について、市民にこのように変わるといった提示をできないのか伺う。

少子化、婚活支援

問 令和4年に総務省が実施したアンケート調査で、結婚しない理由は出会いの機会がないことや出産・子育ての不安などが挙げられている。七夕を活用したサポート支援策はできないのか伺う。

副市長 七夕まつりの開催そのものが若者への出会いの場であると考えており、更なる活用は研究したい。

子育て支援

問 安心して子供を産み育てられる施策を伺う。

副市長 平成29年の子育て世代包括支援センターひら

つかネウボラルームはぐくみの設置や、令和5年1月から産後ケア事業のショートステイやデイサービスを開始するなど、妊娠期から出産、就学前の子育て期まで切れ目のない支援を実施している。

可決した 意見書

議員からの提出議案として、本会議の最終日に次の意見書が提出され原案どおり可決しました。可決した意見書は国や関係行政庁に提出します。ホームページには全文を掲載しています。

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書(抜粋)

現行の刑事訴訟法では、再審手続きに関する規定は19か条しかなく、再審請求事件の審理の進め方は裁判所によって区々であり、いわゆる再審格差と呼ばれるような裁判所ごとの格差が目に見えています。したがって、再審における手続きの整備の必要性

が強く求められています。冤罪被害者を早期に救済する上で、下記の通り、再審法の改正を行うことを強く求めます。

- 1 再審のためのすべての証拠を開示すること
- 2 再審開始決定に対する検察の不服申し立てに制限を加えること
- 3 再審手続きの整備をすること

全庁横断的な組織を

問 全庁横断的な少子化対策チームのような仕組みは作れないか伺う。

健康・こども部長 子ども・子育て推進会議があり、その中で検討すべき下地を持っているので、そこを活用して今後検討を進めていきたい。

防災対策



防災防犯力の強化

数田 俊樹 議員

問 平塚市避難行動要支援者支援制度の取り組みの進捗状況について伺う。

防災・危機管理監 令和2年に避難行動要支援者避難支援指針を策定し、全ての連合自治会及び地区民生委員児童委員協議会に対して地域説明会を開催した。災害発生時に適切な支援を行うための支援体制を地域で検討し、そこで得た各地域の実情や意見を関係者と共有し、地域でのきめ細やかな支援体制が構築できるよう努めてきた。より実効性のある避難支援がなされるよう自主防災組織研修会や民生委員児童委員協議会の総会や研修会などに出向き、制度を詳しく説明し、要支援者に関わりがある障がい関係者などが所属する介護事業所の研修会にも参加し、制度説明や協力依頼を行ってきた。

問 障がい者や高齢者などの要支援者を交えた防災訓練の実施状況を伺う。

問 近年、刑法犯認知件数は減少傾向にあり、検挙率も向上し、安心・安全なまちに向かって歩みを進めていると認識している。引き続き、起こりうる犯罪の事前抑止や犯罪事後の検挙率向上に向けて警察と連携し、防犯力を強化していかなければならないが、防犯カメラの有用性と設置増に

対する本市の考えを伺う。防災・危機管理監 防犯カメラは駅周辺及び通行量の多い道路沿いに設置しており、犯罪の抑止のみならず、犯人の特定にも効果があるため、体感治安の向上や安心・安全なまちづくりに役立つと考えている。カメラの設置については、市民や自治会などのニーズに応えられるよう進めていきたい。

防犯対策

問 防犯カメラの設置を増やすことについて見解を伺う。

防災・危機管理監 設置に当たっては、防犯的な効果や犯罪が起きた際に犯人が捕まるなどのメリットもあるが、一方でプライバシー保護と経費の問題などがある。今後、増やせる場所については効果を確認しながら、増やしていきたい。

問 プライバシーについては以前に比べ管理が徹底されておられ、解決されていると思う。経費についての考えを伺う。

防災・危機管理監 現在10台を管理しており年間12

5万円程度の経費がかかっている。決して安くはない金額と考える。

問 令和3年6月に、県と県警は国内の飲料メーカーと防犯協定を結んだ。内容は防犯カメラを内蔵する自動販売機で、防犯カメラのリース費用はかからず、導入すれば売り上げに応じて市の歳入確保策にもなる。セキュリティ面でもクラウド上で映像を管理し、閲覧権限を限定した契約となっている。市有地などへ設置していけば防犯力の向上と歳入確保策につながる施策と考えるが見解を伺う。

防災・危機管理監 費用やデータ管理は相手方が負担し、カメラも内蔵のため劣化を防げることからメリットは大きいと承知している。設置場所なども含め、今後検討していきたい。

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、11月発行予定の議会だより1面に掲載する写真を募集しています。「秋」をテーマとした、平塚市の魅力を収めた写真をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。(議会局 ☎21-8791)



清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



佐藤 貴子 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 財産管理費の庁舎維持管理事業について、電話交換機の更新及びスマートフォン内線導入の概要と、どのようなメリットが図られるのか伺う。

答 電話交換機は耐用年数が一般的に10年前後とされている。市庁舎本館の電話交換機も約10年経ち、最近では電話機の老朽化や子機の音声の不具合などが度々発生しており、電話交換機を更新する際にスマートフォン内線を導入する。メリットは、故障時のリスク分散や、スマートフォン同士での内線通話が可能となり、通話料の削減になるほか、スマートフォンの庁舎外への持ち出しや現在各課が個別で契約している携帯電話を一元化することによる経費の削減が可能となる。また、スマートフォンではカメラやレコーダーなどのアプリが使えるため、今後電

子機器を購入する際の支出を削減できる。

問 観光費の七夕まつり開催事業について、会場の安全性強化の内容について伺う。

答 市民飾りの作製及び掲出にかかる委託と雑踏監視カメラの設置・撤去工事に関する費用である。これまで市民飾りを掲出していた「湘南七夕の会」より高齢化に伴い、今後飾りの掲出が継続できない旨の相談があり、これからは魅力ある市民飾りを安心・安全に掲出していく必要があるため、市内の建設業者に事業委託をすることとした。これまで「湘南七夕の会」には資材費以外はほぼボランティアとして行ってもらっていたが、建設業者に委託することになるため、予算が増額となった。また、露天商は協議の結果、路上には出店しないこととし、見附台公園に配置することが決まった。そのため見附台公園へ多くの人々が来場することが見込まれ、雑踏の警戒をする必要があり、カメラの増設工事をする費用として計上している。

都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 道路維持費の道路施設改修事業について、花水第二歩道橋撤去の完成予定はいつ頃になるのか伺う。

答 令和7年度を目標に事業を進めている。

問 公園費の高麗山公園(湘南平)魅力アップ事業について、湘南平に設置する遊具について伺う。

答 複合遊具とブランコの2種類の遊具を設置する。いずれもインクルーシブ遊具であり、複合遊具は、小さな子供でも遊べるように難易度を下げたものである。ブランコは円盤状で体を支える力がない子供でも楽しめるものや、ハーネスタイプのものを考えている。また、健常者も遊べるように通常のタイプも用意する。

問 オープンはいつになるのか。

答 令和6年3月を予定している。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 教育指導費のサン・サンスタッフ派遣事業について、学習支援補助員であるサン・サンスタッフの1日の勤務時間と1か月の勤務回数を伺う。

答 勤務時間は1日5時間で、月に9日間勤務している。7月や3月は長期休業のため5日間となり、8月は勤務がない。

問 学校管理費の小学校運営事業及び中学校運営事業について、今後のプールの使用や水泳授業の在り方など、本市の水泳授業を「平塚市立学校プール在り方検討会」で考えていくのか伺う。

答 昨年度開催された「平塚市立学校プール在り方検討会」で、小学校のプールについてはできる限り修繕を行い、大規模改修が必要になった場合は民間のプールを検討していく。また、中学校については民間プールを検討する。

公明ひらつか

誰もが安心して暮らせるまち 平塚に

石田 美雪 議員



問 令和5年6月2日の台風2号の際、気象台は17時50分に「洪水警報」を本市に発令したが、「高齢者等避難」の発令は19時だった。この1時間10分のタイムラグについて伺う。

防災・危機管理監 当初は19時より早めの避難を考えていたが雨のピークがずれた。高齢者が長時間避難所待機するのは体力的な不安があると考え19時と判断したが、暗くて避難ができなかったとの意見もあり、今後、早めの避難所開設の必要性も考える。

問 6月の補正予算で地方創生臨時交付金が4億1600万円入ってきた。今回の活用のポイントを伺う。

市長 今回はスターライ

マナーの還元率引上げによる事業者・家計支援や、福祉・子育て施設への省エネ設備などの導入支援による脱炭素化の効果も見込んだ物価高騰対策などを計上している。基礎自治体として地域の特性を踏まえ、複数の施策効果を狙った取り組みとしている。

問 市長は公約に公立保育所による医療的ケア児をはじめ配慮が必要な子供の支援を掲げたが、受け入れに向けての考えと今後の進め

方について伺う。

市長 配慮が必要な子供のうち医療的ケア児の受け入れは、安心・安全を最優先に考え、研修を受けた保育士だけではなく、児童の状態に合わせた対応が可能な看護師の配置を前提として

問 高齢や生活困窮などの複合的な課題を、円滑な支援につなげることを目的とする重層的支援体制整備事業について、相談したくても出来ない人や支援にたどり着けなかった人への今後の対応を伺う。

市長 重層的支援体制では、潜在的なニーズを抱える人を早期に見出し、本人との関係性を構築していく「アウトリーチ」という手法を使い、地域への訪問や情報収集をおして、相談機関や地域とつながりを持つことが難しく、課題を抱え続けている人に、積極的なアプローチを行っている。

問 ゼロカーボンシティ平塚に向けて、ペットボトルやCO2削減量の見える化

により、意識啓発と行動変容を促すために、公共施設へのウォータースタンドを設置することについての見解を伺う。

市長 公共施設へのウォータースタンド設置については、市民ニーズなどを考慮しながら必要性を検討していく。

問 文部科学省が発表した不登校の総合対策「COCOLOプラン」には、教室に行きづらい児童生徒が学

校内で落ち着いて学習できる「スペシャルサポートルーム」等を設置すると明記されている。本市の現状と課題、今後の取り組みを伺う。

教育長 今年度、学校内で学習したり、居場所としての教室を設置した小中学校は合わせて25校である。課題は一人一人に応じた多様な支援への対応、安心して過ごすための教室の配置を含めた環境整備、児童生徒に対応する教職員の支援体制の充実が挙げられる。今後は好事例な取り組みなどを収集し、教育相談コー



少子・超高齢社会を迎え、持続可能な市政運営を

秋澤 雅久 議員

スマートシティの構築を目指して

問 スマートシティ構築の必要性と構築へ向けた考え方を伺う。

デジタル推進担当部長 スマートシティとは、ICTなどの新技術を活用しつつ、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であると認識している。新技術やデータを活用したデジタル化の取り組みは諸課題を解決するための手段の一つであり、本市が抱えるさまざまな課題をデジタル化によって解決していく結果として、スマートシティは実現されると考えている。

デジタル推進担当部長 デジタル技術を用いて文章や画像などを人間のように作り出すことができ、人が作業したものと同等、あるいはそれに近いものとして作成できるものである。行政においては、市民サービスの向上や業務の効率化が期待できる利用価値の高い技術であると捉えている。先行自治体の状況調査や具体的な検証作業を行い、メリットやデメリットを整理するとともに、安全かつ効果的に利用するためのルール作りや、地方自治

ダイネーター担当者会で紹介するなど、ニーズに応じた多様な学びの場の整備について、学校に働きかけていく。

問 県内各所で「リトルベビーハンドブック写真展」が開催されている。多様な子供への理解促進を図るため、本市でも開催を希望するが見解を伺う。

健康・こども部長 本市でも低出生体重児のつどい「おひさまくらぶ」を通じて支援体制を築いてきた。今後も多様な子供への理解促進に向けて民間団体とも連携して進めていく。

問 急速に広まりつつある生成AI(チャットGPT)についての認識と市政への活用について、検討状況を伺う。

デジタル推進担当部長 デジタル技術を用いて文章や画像などを人間のように作り出すことができ、人が作業したものと同等、あるいはそれに近いものとして作成できるものである。行政においては、市民サービスの向上や業務の効率化が期待できる利用価値の高い技術であると捉えている。先行自治体の状況調査や具体的な検証作業を行い、メリットやデメリットを整理するとともに、安全かつ効果的に利用するためのルール作りや、地方自治



子宮頸がんで亡くなる女性ゼロを目指して

岡崎 通子 議員

問 キャッチアップ世代への接種勧奨について、対象人数、接種率及び接種率から見える課題を伺う。

健康・こども部長 令和4年度の接種対象者のうち、積極的勧奨が差し控えられた平成9年度から18年度に生まれたキャッチアップ世代は9003人おり、接種率は2246人、接種率は24.9%である。課題はほかの世代と比べて接種率が低いことが挙げられる。

問 対象者全員への個別通知は、5年3月議会での同僚議員の質問に対して今後検討するとしていた。その後検討したのか伺う。

健康・こども部長 キャッチアップ世代は接種期間が7年3月末までと期限があるため、できるだけ多くの媒体を使用し、周知や情報提供などに努めている。

問 県外の自治体では、女性の命を守る意味でも男性パートナーのHPVワクチン接種が必要との考えや、5年4月から9価HPVワクチンが公費助成になったこと、男性の4価HPVワクチンの公費助成を進めているところもある。本市も男性のHPVワクチン接種の公費助成を行うべきではないか。

健康・こども部長 本市のワクチン接種の考え方は、国の制度に適切に位置付けられているかを一つの判断基準としている。国がどのような進め方をしているのか見極めながら進めていく。


まちづくり政策部長 対象年齢や助成金額の見直しは、利用状況を見ながら実施主体の平塚市まちづくり財団と調整を図っていく。

声や点字の議会だより
目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。



公明ひらつか 所属議員



五十嵐 豊 議員



上野 仁志 議員

湘南フォーラム



「選ばれるまち、住み続けるまち」を目指し前進を

山原 栄一 議員

落合市長4期目の所信表明から

問 持続可能なまちづくりに向け、新しい種をまき続けるとしているが、今後の経営資源の見通しと、どのように施策を進化させていくのか伺う。

市長 人口減少社会においては、政策の選択と経営資源の集中によって、効率的・効果的な施策を展開していくことが必要となる。この考えのもと、公約に掲げた5つの柱を次期平塚市総合計画に反映させ、さまざまな施策と一体的に展開することで効果を高め、進化させるとともに市内内外へ本市の魅力発信を続ける。

5つの大きな柱「子育て支援」

問 小児医療費の18歳までの所得制限撤廃の拡大による通年の増加額を伺う。

市長 約1億2110万円の増額を見込んでいる。

問 産後パパ育休の拡大に対する取り組みを伺う。

市長 育児休業が取得しやすい環境を整えるために国が創設した制度で、取得させた中小企業は両立支援等助成金を受ける。制度活用

の周知や本市独自の取り組みを子ども・子育て推進会

議で検討していく。

「福祉・暮らし」

問 複合的な課題への相談体制を伺う。

市長 ヤングケアラーや社会的孤立など、市民が抱える課題が複合化・複雑化する傾向を背景に社会福祉法に基づく重層的支援体制整備事業が創設され、今年度移行準備として一部事業を先行実施する予定である。

問 可燃ごみ戸別収集の対象地区拡大の考え方と見通しを伺う。

市長 対象地区の選定は、

「安心・安全」

問 防犯カメラ設置助成の規模と見通しを伺う。

市長 自治会などに対する助成は、1台当たりの補助上限額を引き上げ、補助台数は10台程度と見込んでいます。今後も、自治会などの防犯カメラ設置への助成を継続していく。

「産業・環境」

問 ゼロカーボンシティ実現に向けた具体的な取り組みを伺う。



学校給食費の無償化で子育て支援の更なる充実を

小泉 春雄 議員

問 令和6年9月の中学校給食開始に合わせた、給食費無償化実現の考えを伺う。

教育総務部長 給食費の無償化は、本市の子育て支援の大きな柱の中で必要性や優先度などを勘案し、慎重に検討すべき課題と認識している。

問 小・中学校の給食費無償化に要する費用を伺う。

教育総務部長 小学校児童分の給食材料費で年間5億8千万円程度、中学校給食

車両や作業員、ごみ量などの総合的な視点で決定している。今後は、令和9年度までに市内全域で実施できるように取り組んでいく。

車両や作業員、ごみ量などの総合的な視点で決定している。今後は、令和9年度までに市内全域で実施できるように取り組んでいく。

て、市長の思いを伺う。

「まちづくり」

問 駅周辺地区の将来構想の考え方と取り組みを伺う。

市長 現状や課題の把握とともに、生活様式の変化やデジタル化などの技術、環境負荷軽減などへの対応や国の動向などを踏まえ、駅周辺に人が集まり、居心地の良い居場所となることを目指し、おおむね20年後の将来像をまとめていく。併せてその将来像実現のための支援策を「平塚駅周辺地区アクションプラン」として将来構想とともに令和6年度までにまとめていく。

問 海辺の総合公園について、

市長 子育て支援施設や福祉施設の脱炭素化支援、ZEH導入支援に加え、公共施設への太陽光発電設備導入調査を行う。

市制施行100周年を展望する

問 次期平塚市総合計画策定に向けた考え方を伺う。

市長 人口減少そのものを緩和させる施策と、人口が減少していく社会に適切していく施策を組み合わせていく必要があると考える。

小田急電鉄総合車両所移転計画 伊勢原市と小田急電鉄株式会社が進めるまちづくりの本市の考え方を伺う。

企画政策部長 本市に隣接した地区での事業であり、さまざまな影響も見込まれるため、関係部局で情報を共有している。

市制施行100周年を前に、しっかりと地域に説明し、着々とこの計画を進めさせてもらいたい。

「子育て支援の充実」

問 令和5年度中に開設予定の保育所の状況と4月の待機児童数及び保育留児童数、課題を伺う。

健康・こども部長 10月に定員60人の認可保育所を宮の前に開設予定である。4月の待機児童数は6人、保育留児童数は246人である。5月以降は例年1、2歳児を中心に増える傾向にある。育休明けの入所希望が多く、保育士が不足することなどが課題として挙げられる。

問 保育士の処遇改善やデジタル化の推進で業務量の軽減はされているのか、また、配置基準について県に

子育て支援の充実や行政サービス、終活支援などを伺う

出村 光 議員

要望するべきではないか。

健康・こども部長 就労支援交付金や清掃業務、給食の配膳など保育に関わる周辺業務を行う保育支援者の配置に対する支援や、ICTシステムの導入で事務軽減につながる、好意的な声を聞いている。保育士の配置基準の見直しについては引き続き県に要望していく。

「行政サービス」

問 市職員はあらゆる市民生活に関わりがあるが、すべての窓口で市民を迎える対応になっているか伺う。

総務部長 日頃から適切な接遇を心がけているが、意見や叱責を受けることもあ

る。本市の31人は多いと思うが見解を伺う。

学校教育部長 人数は多いと認識しているが、学校数や指導主事の割合からみると近隣市と変わりないと考える。

問 割愛職員を半分程度に削減し、市の職員で対応してはどうか。

学校教育部長 指導主事は経験がある者でなければならぬと法で定められている。半分にする場合、これまでのような学校支援は難しい状況になる。

問 現在の教職員給与は時間外労働に依じた残業手当がない代わりに、基本給の

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境としています。



湘南フォーラム 所属議員



久保田 聡 議員



府川 正明 議員

問 身寄りがいない人が安心して終活相談ができる窓口の設置について伺う。

福祉部長 県内の先行事例を参考に検討したい。

このほかの質問 校舎の改修促進とトイレ洋式化

しらすぎ・無所属クラブ



平塚はこんなもんじゃやない
満足度NO1をめざして

白井 照人 議員

市長の政治姿勢

問 我が党、自由民主党に推薦申請した理由を伺う。
市長 これまでの政治姿勢や掲げた公約に対し各党から支援をもらい、多くの団体や市民から支持をもらった。

問 北朝鮮による拉致問題に対する考え方を伺う。
市長 関心と認識を深めるよう意識啓発などの取り組みが必要と考える。

問 市長が常にブルーリボンバッジを付けない理由を伺う。
市長 啓発週間などの時には付けている。

問 学校現場では拉致問題をどう扱っているのか。
学校教育部長 教育活動の一つとして行うよう周知に努めている。

問 道徳の時間などでアニメ「めぐみ」を活用し、児童生徒に啓発を図る考えはあるのか。
学校教育部長 市内の学校で活用したとの報告は受けているが、全校に働きかけはしていない。今後、国や県の通知を受け学校にしっかりと周知していきたい。



会議録は8月下旬に公開

6月定例会の会議録は8月下旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧いただけます。

る必要があると考える。

旧J-T跡地開発

問 開発予定地北側道路の整備内容を伺う。
まちづくり政策部長 延長384メートル、幅員4メートルで、自転車・歩行者用道路として整備し、全線完成は令和6年3月末を予定している。

問 南側の道路協議は完了しているのか伺う。
土木部長 幹道38号須賀久領平塚中学校線に関しては4年12月末に終了している。

問 道路の幅員によって変
土木部長 場所によって変

問 手ぶら保育の促進支援の目的と内容を伺う。
健康・こども部長 保護者と保育士の負担軽減を目的に、紙おむつの定額サービスを導入し、入所している0歳児から2歳児の園児一人につき紙おむつの処分費用月額420円を認可保育所などに補助する事業である。令和5年10月から開始予定で、6月時点では約1400人が対象となる。



手ぶら保育の促進支援・
市民の健康を守るために

渡部 亮 議員

問 園が導入していれば処分を行う。
健康・こども部長 園が導入した場合は全額を市が負担してはどうか伺う。

問 定額サービスの利用率向上のため、定額サービスの費用の一部または全額を市が負担してはどうか伺う。
健康・こども部長 定額サービス本体に補助をするのと、保育園に通っていない子どもと差が出てしまう。

問 保護者が負担に感じている昼寝用の布団と主食の持参も手ぶら保育にできないか伺う。
健康・こども部長 検証しながら進めていきたい。

問 兵庫県明石市ではひとり親家庭応援貸付金として児童扶養手当の1か月相当を支給のない月に貸付金として渡し、家計の安定を図る制度がある。本市でも貸付金制度を利用し、児童扶養手当を毎月支給することはできないのか伺う。
健康・こども部長 児童扶養手当は児童扶養手当法に定められた国の給付制度であり、法律により支給月が指定されている。令和元年に年3回から6回の支給に法改正がされた。その際、毎月支給についての議論が国でされ、ひとり親家庭の自立を図る観点から、就業



児童扶養手当の
毎月支給実施は可能か

元島 新 議員

問 本市の未婚のひとり親の割合は令和4年3月末の県の統計では11%、近隣の藤沢市と茅ヶ崎市、厚木市は8%、秦野市は6%である。本市のひとり親が他市と比べて多い理由を伺う。
健康・こども部長 政令指定都市を除く県内16市で見ると、本市は多いほうから7番目で中位である。県全体では必ずしも高くはないが、湘南地域では確かに上位である。理由については分析しきれない点はあるが就職、就労先があることが理由の一つであると捉えている。

未婚のひとり親はなぜ多い

問 本市の未婚のひとり親の割合は令和4年3月末の県の統計では11%、近隣の藤沢市と茅ヶ崎市、厚木市は8%、秦野市は6%である。本市のひとり親が他市と比べて多い理由を伺う。
健康・こども部長 政令指定都市を除く県内16市で見ると、本市は多いほうから7番目で中位である。県全体では必ずしも高くはないが、湘南地域では確かに上位である。理由については分析しきれない点はあるが就職、就労先があることが理由の一つであると捉えている。

養育費の受給状況と
立て替え制度は
新設可能か

問 兵庫県明石市では、養育費が支払われない際に養育費を受け取るべき人に最大3か月分、上限月額5万円を立替払いし、支払うべき人に催促する立替制度がある。本市でも立て替えをすべきと思うが見解を伺う。
健康・こども部長 本市では、養育費の受給状況と立て替え制度は新設可能か

路上喫煙禁止区域の
加熱式たばこの規制

問 加熱式たばこの煙は周りの人の健康への悪影響が否定できない。平塚市さわかやで清潔なまちづくり条例では駅周辺を路上喫煙禁止区域としているが、加熱式たばこは対象外である。本市の加熱式たばこのシェアは4割にも上る。紙巻きたばこ同様規制すべきと考えるが見解を伺う。
環境部長 条例ではたばこの火による事故防止、ポイ捨て防止を目的としており加熱式たばこは規制の対象としていない。

指定喫煙所の再整備

問 市民から煙や匂いに対する苦情があるが、なぜ変わらないのか伺う。
環境部長 現状では適切な場所の確保が難しい。

問 喫煙所再整備に関する予算について見解を伺う。
環境部長 さまざまな施策の一部として、優先順位を付けながら検討していく。

問 条例は数年毎の定期的な見直しの規定を設け、時

しらすぎ・無所属クラブ 所属議員



端 文昭 議員



江口 友子 議員

インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



女性トイレだけでなく男性トイレにも同じ案内をつけてと要望した

健康・こども部長 本市では養育費の立て替えではなく、相談支援のほか、養育費の保証契約を締結する際に負担する保証料を補助することで、養育費の未払いが発生した場合に、ひとり親に代わって保証会社が養育費の立て替えを行う保証促進補助金を設けており、この仕組みを案内していきたいと考えている。

日本共産党平塚市議会議員団



**市長の所信表明から
子育て支援は喫緊の課題**

高山 和義 議員

問 学校給食費無償化は子育て支援の喫緊の課題と考えるが見解を伺う。

教育総務部長 令和6年9月の中学校給食完全実施に向け、現在全力を挙げて取り組んでいる。まずこれを着実に進め、子供の健やかな成長を支える環境づくりに努めていきたい。

問 大磯町では4月に開始した。検討はすぐにも始めるべきではないか。

教育総務部長 他自治体の動きなど、情報収集や調査

研究を進めていきたい。

龍城ヶ丘整備は 市民対話を最優先で

問 既存樹林帯を10メートル確保すれば風の影響は変わらないとする根拠を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

問 何人もの専門家から樹林帯を伐採すれば風の影響は出てくると聞いている。知見を基にした専門家を伺う。

都市整備部長 専門家の知見に基づき市が判断した。

無所属



子ども食堂、学習支援民間団体へ市からの補助金を

佐藤 由美子 議員

問 子供の未来を応援する民間団体などへの補助金について検討しているのか。

健康・子ども部長 本市では、平塚市市民活動推進補助金を交付することで、市民活動団体や地域活動団体などを資金面で支援しており、既に学習支援や子ども食堂などの団体も利用している。

問 県外には子どもの居場所事業開設費の補助をして

健康・子ども部長 本市では、平塚市市民活動推進補助金を交付することで、市民活動団体や地域活動団体などを資金面で支援しており、既に学習支援や子ども食堂などの団体も利用している。

問 県外には子どもの居場所事業開設費の補助をして

健康・子ども部長 本市では、平塚市市民活動推進補助金を交付することで、市民活動団体や地域活動団体などを資金面で支援しており、既に学習支援や子ども食堂などの団体も利用している。

問 県外には子どもの居場所事業開設費の補助をして

健康・子ども部長 本市では、平塚市市民活動推進補助金を交付することで、市民活動団体や地域活動団体などを資金面で支援しており、既に学習支援や子ども食堂などの団体も利用している。

問 県外には子どもの居場所事業開設費の補助をして

健康・子ども部長 本市では、平塚市市民活動推進補助金を交付することで、市民活動団体や地域活動団体などを資金面で支援しており、既に学習支援や子ども食堂などの団体も利用している。

都市整備部長 樹林帯の中に計測装置を複数箇所設置し、計測した数値に基づき吉崎東京都市大学名誉教授の指導を基に市が判断した。

問 吉崎教授は実際に現地調査をしたのか。

都市整備部長 当時は別部署で業務を行っており、調査については詳しいことは把握していない。

問 新たに植栽しても、根切りした木は大きく育つ可能性は低いとの専門家の意見があるが、見解を伺う。

都市整備部長 どのような木を植栽するかは、まだ検討中である。

問 市長は当選後の地域情

都市整備部長 50回以上対

問 市民と直接語り合うとしている。早急の対話を設定してほしいが見解を伺う。

都市整備部長 事業の詳細は担当部局でないと把握していないため担当部局が対応することになっている。

問 本来ならば市長が出席するのが対話集会の本筋だと思いが見解を伺う。

都市整備部長 現在代表の自治会長と連絡を取っているところである。

問 最終プランがまとまってから市長が説明するのは対話ではなく報告である。PPP/PFI事業における市民対話マニュアルでは、市長が地域に向き、

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

報誌のインタビューに、丁寧に進めてきたプロセスを表面的なイメージだけで判断される部分があったのは辛かったと述べているが、住民合意がなされない中で事業が進められてきているとの声も多い。どのように考えているのか伺う。

市長 この事業は令和元年6月議会で債務負担行為の説明を行い、市民の代表である議員に承認をもらって進めている。市全体のことを考えて、本市の海の魅力をしっかりと主張し、本市を評価してもらおう大切な事業であるため、そのように表現した。

問 自治会長たちと話をしたことでも理解を得たと判断したのか伺う。

都市整備部長 50回以上対

問 市民と直接語り合うとしている。早急の対話を設定してほしいが見解を伺う。

都市整備部長 事業の詳細は担当部局でないと把握していないため担当部局が対応することになっている。

問 本来ならば市長が出席するのが対話集会の本筋だと思いが見解を伺う。

都市整備部長 現在代表の自治会長と連絡を取っているところである。

問 最終プランがまとまってから市長が説明するのは対話ではなく報告である。PPP/PFI事業における市民対話マニュアルでは、市長が地域に向き、

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

問 この事業は地元住民へ

**湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーン
整備・管理運営事業**

トラブル続出マイナ 保険証一体化中止に

問 重い障がいを持っているなど、市役所に来られない人ほど申請や取得ができない制度が見解を伺う。

デジタル推進担当部長 課題があるのは承知しているが、国が出した方法に沿って対応したい。

問 カードを取得しないと窓口負担が増えるのは不利益ではないか。

デジタル推進担当部長 国の方針であり、答弁は差し控えない。

問 マイナ保険証未取得者全員に、毎年資格確認書を発行できないか。

デジタル推進担当部長 国は申請に基づき発行するとしているので、国の方針に従って対応していく。

このほかの質問 幼保一元化 新型コロナウイルス感染症対策

日本共産党平塚市議会議員団

所属議員

松本 敏子 議員

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧いただけます。

議員からの提出議案として、本会議の最終日に次の意見書が提出され原案どおり可決しました。可決した意見書は国や関係行政庁に提出します。ホームページには全文を掲載しています。

可決した意見書

■子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

次の事項について配慮されるよう、強く要望する。

1. 小学校の35人学級を計画的に進め、中学校での引き下げを早急に実施すること。また、30人以下学級について検討すること。
2. ゆたかな学びの実現するための教職員の完全配置と、今日的課題解決のための教育職員の常勤化など教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 児童福祉総務費の民間保育所助成事業について、保育士の処遇改善と認識しているが、障がい児保育費を23万円に改定する根拠と、公立園ではどのような対応を取っているのか伺う。

答 保育士の月額雇用単価である23万5260円を障がい児保育費

の根拠としている。障がい児と保育士の配置基準を2対1と想定しているため、障がい児1人の受け入れについては雇用単価の半額である11万7632円となっている。公立園の対応だが、公立園は補助がないため、会計年度任用職員の配置などの人員配置を行うことにより、障がい児の受け入れを手厚く行っている。

問 予防費の母子保健事業について、産後ケア・アウトリーチ(訪問型)の具体的な内容や開始時期、対象者を伺う。

答 利用者の居宅へ委託事業所が訪問し、母子のケアや育児相談などのサービスを母子の状況に合わせて助産師などから提供するものである。令和6年1月に開始できるよう準備を進めており、対象者は、デイサービスやショートステイと同様に本市に住所がある出産後4か月未満の母子で、家族などから出産後の支援が受けられない人や、出産後の体調不良や育児不安がある人などを考えている。

問 環境政策費の地球温暖化対策推進事業について、ゼロカーボン

シティの実現に向けて、脱炭素化を推進するための、公共施設への太陽光発電設備の導入調査支援委託料1066万7千円の内容を伺う。

答 国の支援を受け、学校施設を中心とした30施設を対象に、太陽光発電設備を屋上に設置する場合に適切な場所を確保できるか、どの程度の荷重があるか、また、日照の具合での発電量の確保などについて現地調査を行いながら委託するため、全額委託料で計上している。

審議の結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対 退は退席
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	湘	公	し	共	A
第33号	平塚市市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第34号	平塚市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第35号	平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第36号	平塚市屋外広告物条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第37号	平塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第38号	国際姉妹都市の提携について	可決	○	○	○	○	○	○
第39号	和解契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
第40号	令和5年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	×	○
第41号	令和5年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第42号	令和5年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第43号	令和5年度平塚市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第44号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第45号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第46号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第47号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第48号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第49号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第50号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第51号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第52号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第53号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第54号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第55号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第56号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第57号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第58号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第59号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○
第60号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

会議案番号	件名	結果	清	湘	公	し	共	A
第2号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書	可決	○	○4退1	○	○	○	○
第3号	子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○4退1	○	○	○	○

報告

報告番号	件名
第3号	専決処分の報告について
第4号	継続費の通次繰越しの報告について
第5号	繰越明許費の繰越しの報告について
第6号	事故繰越しの報告について
第7号	公営企業会計予算繰越しの報告について
第8号	公益財団法人平塚市まちづくり財団の経営状況について
第9号	公益財団法人平塚市生きがい事業団の経営状況について

請願

請願番号	件名	付託委員会	結果
第3号	再審法改正の意見書を国に求める請願	総務経済常任委員会	採択
第4号	子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	教育民生常任委員会	採択

5月臨時会の審議の結果

5月16日、17日に市議会5月臨時会を開催し、市長から専決処分及び人事案件に関する議案が提出され、審議の結果、次のとおり承認、同意しました。また、議員から平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例に関する会議案が提出され、原案どおり可決しました。

市長提出議案

議案番号	件名	結果
第26号	専決処分の承認について〔平塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例〕	承認
第27号	専決処分の承認について〔令和4年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第28号	専決処分の承認について〔令和5年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第29号	専決処分の承認について〔令和5年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第30号	固定資産評価員の選任について	同意
第31号	監査委員の選任について	同意
第32号	監査委員の選任について	同意

議員提出議案

会議案番号	件名	結果
第1号	平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決

報告

報告番号	件名
第2号	専決処分の報告について

会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。

- 清……清風クラブ(8名)
- 湘……湘南フォーラム(5名)
- 公……公明ひらつか(5名)
- し……しらさぎ・無所属クラブ(5名)
- 共……日本共産党平塚市議会議員団(2名)
- A……佐藤由美子(無所属)

議会報編集委員会

- 編集委員 元島 新 久保田聡
岡崎通子 黒部栄三
- 議長 坂間正昭
副議長 出村 光

お知らせ

- 9月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。
- 本会議はケーブルテレビ(SCN)での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。
- 市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧ください。



問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26
					本会議 [提案説明 など]	
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2
9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
		本会議 [総括質問]	本会議 [総括質問]	本会議 [総括質問]	本会議 [総括質問]	
9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
		常任委員会	常任委員会			
9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23
			本会議 [表決など]			